

# 文藝言語研究

## 文藝篇

### 目次

- Il significato di “segno” nell’interpretazione  
biblica di Clemente Alessandrino ..... 秋山 学 1
- From Thick to Quick Translation: The Translator as Reader  
in Times of Globalization ..... ヘーゼルハウス, ヘラト 13
- 1930年代～50年代のジョージ・H・カーと  
環太平洋文化交渉の地政学 ..... 吉原 ゆかり 41

## 言語篇

### 目次

- A Note on the *Because X* Construction: With  
Special Reference to the X-Element ..... KANETANI Masaru 67
- 現代日本語における助数詞への外来語の進出  
—抽象的概念を表す「-ケース」を例に— ..... 田中 佑 81

2016

70

筑波大学大学院

人文社会科学研究科 文芸・言語専攻

## 文芸・言語専攻名簿

|        |       |               |             |
|--------|-------|---------------|-------------|
| 相澤啓一   | 青木三郎  | 青柳悦子          | 秋山佳奈子       |
| 秋山学    | 池田潤   | 池田晋           | 石田尊         |
| 石田プリシラ | 石塚修   | 伊藤真           | 入山美保        |
| 白山利信   | 大倉浩   | 大矢俊明          | 小川美登里       |
| 長田友紀   | 加賀信広  | 加藤百合          | 金谷優         |
| ○稀代麻也子 | 木田剛   | 清登典子          | 金仁和         |
| 窪田悠介   | ◎小松建男 | コリンズ, クリステン・J | 齋藤一         |
| 佐野隆弥   | 澤田浩子  | 島田雅晴          | 島田康行        |
| 杉本武    | 田川拓海  | 田中佑           | 竹沢幸一        |
| 谷口孝介   | 近本謙介  | ツイガルニツカヤ, エレナ | ○那須昭夫       |
| 沼田善子   | 橋本修   | 馬場美佳          | 菱川邦俊        |
| 一二三朋子  | 廣瀬幸生  | ブリッド, ジェレミー   | ヘーゼルハウス, ヘト |
| 増尾弘美   | 松崎寛   | 松下聖           | 宮本エジソン正     |
| 宮本陽一郎  | 本井牧子  | 矢澤真人          | 吉原ゆかり       |
| 和氣愛仁   | 鷺津浩子  | 和田尚明          | 渡邊淳也        |

(◎印は編集委員長 ○は編集委員)

## 掲載論文の取消・削除について

2014 年 10 月 31 日刊行の『文藝言語研究 文藝篇』第 66 巻 1～32 ページに掲載された、小松優香元准教授（2016 年 3 月退職）の論文「チャールズ・テイラーにおける自己存在と対話性—Part. 1 多様な「善」に裏づけられた人間存在—」が、本学研究公正委員会に設置された調査委員会により特定不正行為（盗用）があると認定されました。

本件について、盗用の疑いが明らかになって以来、文芸・言語専攻として、事実確認の調査を進めて参りましたが、本学の調査委員会による調査結果と合致することを確認致しました。これに伴い、当該論文を『文藝言語研究 文藝篇』第 66 巻から取り消し、削除することと致しました。

文芸・言語専攻は、このようなあるまじき不正行為に気づくことなく刊行した責任を重く真摯に受け止め、構成員の研究倫理遵守に向けた啓発活動を行うとともに、査読体制を改定し再発防止に全力で取り組む所存であります。

2016 年 9 月 30 日

筑波大学人文社会科学研究科  
文芸・言語専攻長  
宮 本 陽一郎

# 『文藝言語研究』 投稿規定

## 1. 投稿資格

『文藝言語研究』に投稿資格を有する者は、以下の通りである。

- (1) 文芸・言語専攻の構成員
- (2) 文芸・言語専攻教育会議が認めた者（このことについては、紀要委員会が提案し、専攻教員会議で決定する）

## 2. 論文形式

- ・論文の形式については、文学・言語学関係の分野の国際的あるいは日本国内の全国的な学会誌・専門誌において用いられているものを使用する。
- ・論文の長さについては、特に規定を設けない。ただし、論文が長い場合には、紀要委員会の判断により分割掲載を行うことがある。

## 3. 投稿方法

- ・投稿を行うには、定められた期限までに紀要委員会に申し込み用紙を提出する。
- ・投稿に際しては、電子媒体ファイルとハードコピー 1 部に投稿票を添えて紀要委員会に提出する。

## 4. 採否の決定

- ・投稿原稿の採否は、紀要委員会が指名する査読者による査読を経て、紀要委員会で決定し、投稿者に報告する。
- ・採否決定について不服がある場合、投稿者は紀要委員会に申し立てができる。投稿者からの不服申し立てに対しては、紀要委員会が新たな査読者に査読を依頼してさらに審査を行い、最終決定を行う。

## 5. その他

詳細は別途定める。

# 『文藝言語研究』70巻 査読委員

秋 山 学 齋 藤 一 ヘーゼルハウス, ヘルト

沼 田 善 子 廣 瀬 幸 生

## 編 集 後 記

『文藝言語研究』第70巻をお届けします。今年4月に、あつてはならぬ事件が明らかになりました。無念でなりません。紀要委員会は、今後の対応を協議し、投稿規定と査読体制の見直し案を作成いたしました。見直し案は、7月の専攻教員会議に提出され了承を得ましたので、71巻から、この新たな投稿規定と査読体制で紀要の編集を行うこととなります。

この様な状況の中で、投稿頂いた方々、査読をご快諾頂いた皆様、そして普段以上に緊張を強いられる中で、紀要の編集・刊行に従事された紀要委員・特任研究員の田中佑君・専攻事務室の皆様に紀要委員長として御礼を申し上げます。

(小松 建男)

---

### 文藝言語研究 (第70巻)

2016年9月30日発行

発 行 所 筑波大学大学院  
人文社会科学研究科 文芸・言語専攻

茨城県つくば市天王台1丁目1番地  
電 話 (029)853-4340 (〒305-8571)

印 刷 所 筑波印刷情報サービスセンター協同組合

---

# *STUDIES IN LANGUAGE AND LITERATURE*

## Literature

### CONTENTS

|   |                   |    |
|---|-------------------|----|
| Il significato di “segno” nell’interpretazione<br>biblica di Clemente Alessandrino<br>.....     | AKIYAMA Manabu    | 1  |
| From Thick to Quick Translation: The Translator as Reader<br>in Times of Globalization<br>..... | HESELHAUS, Herrad | 13 |
| Transpacific Cultural Diplomacy and<br>George H. Kerr in 1930s-1950s<br>.....                   | YOSHIHARA Yukari  | 41 |

## Language

### CONTENTS

|  |                 |    |
|--|-----------------|----|
| A Note on the <i>Because</i> X Construction: With<br>Special Reference to the X-Element<br>..... | KANETANI Masaru | 67 |
| Emergence of Lownwords as Japanese Classifiers:<br>A Case Study of “-Keisu (Case)”<br>.....      | TANAKA Yu       | 81 |

2016

70

Doctoral Program in Literature and Linguistics

University of Tsukuba